

成果の説明書

(氏名) 櫻井 常矢	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p><b>【研究活動】</b></p> <p>(1) 科学研究費助成事業（基盤研究（C））調査研究の実施 課題番号：19K02453（2019～2021年度） 研究課題：「RMOの組織形成と自治体社会教育・中間支援機能の構造に関する研究」</p> <p>(2) 論文・雑誌・学会報告等 <input type="checkbox"/> 「社会教育施設と地域コミュニティとの関係構造」 『地域政策研究』第22巻第2号 1-14頁 高崎経済大学地域政策学会 2019年12月 <input type="checkbox"/> 調査報告書協力「令和元年度 地域の暮らしを支える地域運営組織に関する調査研究会報告書」一般財団法人 自治総合センター（2020年3月）</p> <p>(3) 学会役員等 日本地域政策学会理事（企画委員会副委員長）</p> <p><b>【教育活動】</b></p> <p>(1) ゼミナール演習・調査活動</p> <p>①文献購読：『生涯学習と地域社会教育』（春風社） 『テキスト生涯学習』（学文社） 『社会教育・生涯学習の再編とソーシャル・キャピタル』（大学教育出版）</p> <p>②高崎市久留馬公民館と周辺地域に関する調査活動 2019年4月に新設された久留馬公民館は、当該地域にとって初めての経験となる。そのため学習講座プログラムの企画に向けた生活課題、地域課題等の住民ニーズの把握をゼミ生と公民館主事との連携のもと進めている。特に今年度は、市内佐野公民館の取り組み状況のヒアリング調査、並びに地域調査の設計を中心に行った。</p> <p>③海外フィールドワーク <input type="checkbox"/> 【訪問先】カンボジア・プノンペン 【日程】2019年8月22～27日 【調査課題】カンボジアのCommunity Learning Centerに関する訪問調査 <input type="checkbox"/> 【訪問先】カンボジア・プノンペン／シェムリアップ 【日程】2020年2月9日～14日 【調査課題】カンボジアのコミュニティパートナーシップに関する訪問調査</p> <p>④ゼミナール研究年報（第14号）の編集・発行 論文掲載本数12本 発行日2020年3月25日</p>	

## (2) 自治体・企業・地域との連携を通じた学生のコーディネータ力の育成

### ① 株式会社 群成舎との連携事業 —たかさき地域協働委員会の設立—

(株) 群成舎新社屋の地域開放を契機に高崎市内の学校、大学、NPO、公民館等による地域プラットフォーム「たかさき地域協働委員会」を設立。地域課題解決に向けた情報交換による相互連携の推進を目的としている。本研究室がコーディネータ役として今後継続的に展開。事業開始：2019年7月。

### ② (特活) 自然王国ほその村〔上越市安塚区細野〕との連携事業

過疎集落の活性化に取り組む集落 NPO への参加を通じた学習プログラム。年間を通じた地域事業運営への参加を通して課題解決手法、住民の主体形成のプロセスを学ぶ。

## 【地域貢献】

### (1) 国、地方自治体の各種委員・アドバイザー等

- 総務省地域の暮らしを支える地域運営組織に関する調査研究会委員
- 群馬県社会教育委員
- (公財) 群馬県青少年育成事業団理事
- 福島県浪江町「浪江のこころプロジェクト」プロジェクトリーダー
- 大崎市政策アドバイザー (地域自治組織・市民協働担当) ほか

### (2) 市民協働・地域づくり・生涯学習等に関する自治体職員研修

全国市町村職員中央研修所 (市町村アカデミー)、全国市町村国際文化研修所 (国際文化アカデミー)、山形県市町村研修所、秋田県自治研修所、別府市、山口市、那覇市、長岡市、福山市、桑名市、東大阪市、小牧市、西条市、雫石町、ほか

### (3) 市民協働・地域づくり・生涯学習等に関する市民向け講演

福山市、宜野湾市、西条市、柏市、東金市 (自治研修協会派遣)、十和田市、裾野市、おいらせ町、函南町、ほか

## 2 その他の事項

### 【学内業務】 高崎経済大学広報室長

教育研究審議会委員

教職課程運営委員会委員、地域政策学部実習運営委員会委員 ほか

## 3 次年度以降への抱負

特に地元企業との連携という新たな展開を実現できたため、積極的な学生の参加のもとさらに創造的な地域との連携事業を実現したい。また、海外でのフィールドワークや新たに導入される遠隔授業を契機として、ゼミの教育プログラムの更新や新たな調査活動の展開などゼミナールの教育活動の充実を図りたい。